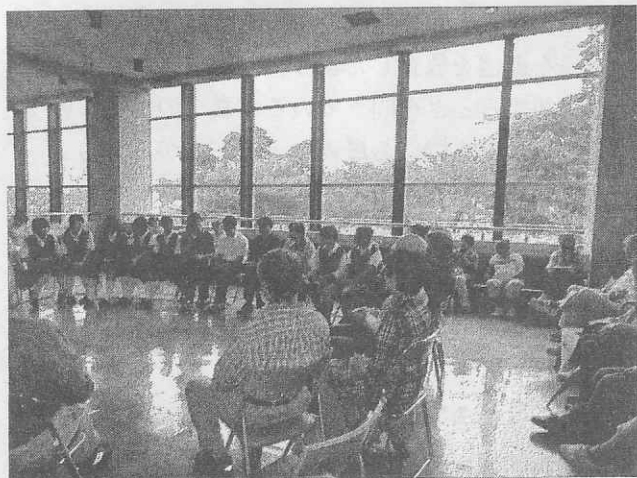


1000万人で「さよなら原発」

9月19日東京・明治公園で大集会

野田・九条の会は3月11日の原発事故の後、原発についての学習会を4回行いました。福島で何が起ったのか、報道されない事実や、働く人の立場から見た原発、放射能とはどんなものか、など様々な角度から学習し、原発はいらないという立場に立ち運動をしていくことになりました。9月19日東京明治公園で「脱原発」5万人集会が開かれます。そして震災1年後までに1千万人の署名を集め、国会請願をする予定ということです。呼びかけ人は最初に九条の会の呼びかけ人となった、澤地久枝さん、大江健三郎さんほか鎌田慧さん、瀬戸内寂聴さん、辻井喬さん、落合恵子さん、内橋克人さん、坂本龍一さんの計8人です。野田・九条の会もこの運動に賛同し、行動しませんか。

9月19日明治公園に行ってみませんか。詳しくは事務局まで。



高校生も参加したぶっちゃけトーク

平和のための戦争展5周年を記念して開かれた「平和のつどい」の第2011は2日間で約9000人余りの入場者でにぎわいました。昨年初めて実施した「ぶっちゃけトーク」に今年は、朗読劇に参加した高校生が10人も残って活発に発言し、大人も負けじと真剣に論議が展開されました。テーマは「核」。原発は必要悪か、廃棄物はどうする？今、まだまだ続いている震災の現地、労働者の問題は？など本音で話し合う充実した時となりました。

「平和のつどい」8月20日21日開催
文化会館は戦争と平和を考える空気でいっぱい！

今月の予定

★野田・九条の会定例会

9月10日(土)10時～12時 中央公民館講座室

★署名行動

9月9日(金)4時～5時 川間駅南口

★1000万人さよなら原発集会

9月19日(月・祝)1時半～ 東京・明治公園

★「平和のつどい」反省会

9月25日(日)10時～14時 樺のホール研修室

★川間九条の会ビデオ上映「はてしなき戦線の拡大」

9月26日(月)1時半～ 北コミュニティ

もう一つの特別企画「松元ヒロ」ライブは100人ほどの入場で、内容が濃かっただけに、少し残念な結果でした。参加された方々は、おなかをよじらせ笑って、日頃思っていて言えなかったことをスパッと言ってくれるヒロさんの大ファンになったようです。違う機会にヒロさんをぜひお呼びしたいとの声も上がっています。

この平和のつどいの開催にあたって皆さんのご協力本当にありがとうございます。

九条の眼

いまわたしの中で、2つのいまが重なっています。8才のときのいまと67年後のいまです。

2つのいまに立つわたしの姿はいずれも見すばらしく哀れに恐怖におののいています。よく見れば、2つのいまは67年前の8月6日から新憲法が発布されるまでのいまであり、もひとつは今年3月11日から今日までのいまのようです。いわば、モニタージュ映像の組み立てる超現実的現実です。

…私は無数の人々の波に捲き込まれ、はかない言葉の騒音に溺れて、

「食べ物をよこせ、
棲家をよこせ、
田畑をよこせ、
村を返せ、
先祖の墓を返せ、
昔馴染みの世界を返せ、
……………

秩序を返せ、
平和を返せ、
一日から次の日へと流れ過ぎた昔のような日々を返せ
無残な死から自分の子供達を救うチャンスをやこせ
恐ろしい心の重荷をとりはずしてくれ」
ハーマン・ハゲドーン『アメリカに落ちた原爆』
より（抄）

と叫んでいる自分と、ツナミ、ホーシャセンに犯され街が根こそぎに浸された 3.11 被災地のガレキと化した家々、家財道具、車・船体、生産財、廃

棄物。無数の十字架と化した工場の柱から放つ悪臭、ガランとした牛馬豚鶏舎に野犬と化した犬の咆哮が高く低くわたしの耳を埋めているいまです。

どうしてこうなったのだろうか。

40年ちかく前、田原総一郎さん原作の『原子力戦争』という映画（監督：黒木和雄、1978年）がありました。そこで田原さんは「福島原発の無事故というのは、事故が起きないということではなく、事故を外部に漏らさずもみ消すことだ」と言っていました。ジャーナリズムがほぼこぞって原発推進に傾いているとはいえ、良心的学者、教育者、技術者、ジャーナリストたちの告発から”もみ消し”の実態が、少しずつわたしたちの耳目に届き始めています。それを知るたび、わたしには、あとで知った日本帝国侵略皇軍の現地で犯した数々の犯罪行為、兵士たちの悲惨な死にざまが明らかにされたときの驚愕と重なります。

しかし、いま、そうした良心的告発者に襲ってくるものは配転、降格、人の尊厳を屁ともしない恐喝、恫喝、人格を抹殺するような偏見と差別のツナミです。わたしたち一般市民にはまたぞろ「絶対に勝つ神国日本」とおなじように「安全神話」という偽装の逸話が連日連夜マスコミを通して流されはじめました。原発利権集団による欺瞞、だまし、ごまかし、そして安楽への幻想です。

9条で戦争を武器を放棄したように「緩慢に爆発する原発」から脱却するときを問うているいまなのではないでしょうか。「もう死んでいる母親に 子どもが よちよちと水をはこんで口に入れている 一時間あと 通ったときもまだやっている 8月6日」が来ないために。

いま問われしもの

野田みずき 小塚俊彦

尖閣、自衛隊で活発化する八重山で、 つくる会教科書採択

「宮古、八重山への自衛隊配備で地ならしと環境づくりも担って自衛艦や米艦船の入港も増え、入港をめぐっても、今では反対の声以上に「歓迎」の声が大きくなっている。さらに今では防衛協会が積極的に表に出て来るなど、2年目を迎えた保守市政下でわか派や保守陣営の勢いは急加速している」という八重山（石垣市、与那国町、竹富町）。

その八重山で「日本国憲法のもつ根本的意義に触れず、自衛隊を礼賛し、憲法改正へ誘導する内容」と指摘されている「つくる会」京の育鵬社版教科書（中学公民）が選定され、沖縄に怒りと不安が広がっている。中国脅威論を煽りながら、沖縄を日米両軍の軍事的盾にしようという動きと無関係ではなく、沖縄だけの問題ではない。私たちの問題として捉えねばならないのだが、「ニッポン一つ」の掛け声がむなししい状況だ。

一緒に観ませんか。語りませんか。

DVD上映会

NHKスペシャル

「果てしなき戦線の拡大」

日時 9月26日(月)

午後 1時30分より

会場 北コミュニティーセンター

主催 川間九条の会

連絡先 柳 (7129-4849)